

再生可能エネルギー由来の電力への 切替について

脱炭素・GREEN×EXPO推進局
循環型社会推進課

- ・横浜市は市域全体で、2030年のカーボンハーフ、2050年のカーボンニュートラルを目指しています。
- ・達成に向けて、市民・事業者の皆様の再エネ切替が不可欠です。
→再エネ電気への切替のご検討をぜひお願いいたします。
- ・再エネ電気のメニューは各小売電気事業者が展開していますが、メニューの特徴は様々です。
→再エネ電気の切替にあたり、本市が取り組む
「**地産地消**メニュー」や「発電所立地地域に**地域貢献**できるメニュー」といった特徴のある再エネのご検討をぜひお願いいたします。

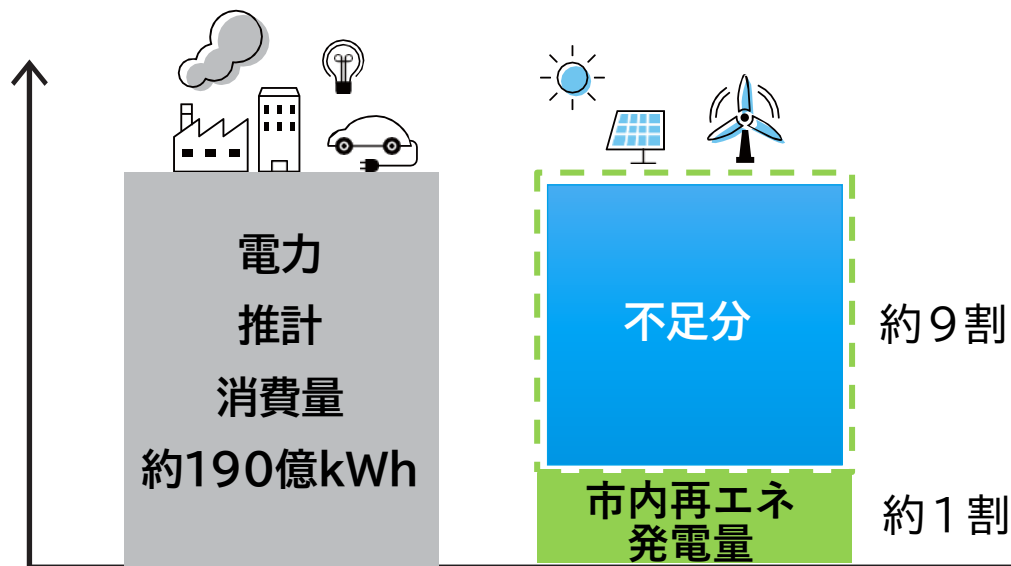
1. 再エネ広域連携について
2. 再エネ切替の取り組み
3. 横浜市が連携する
再エネ電力プラン一覧

1. 再エネ広域連携について

2050年に想定される横浜市内のエネルギーについて

横浜市内の再生可能エネルギーによる供給ポテンシャルは**約1割** ※2050年想定

残りの9割は、市外から調達しないと脱炭素化できない



市外から
持続可能な形で
再生エネの調達が必要



再生エネ資源を豊富に有する
地域と広域連携を推進

※環境省の試算

再エネ広域連携の取り組み

再エネ資源を豊富に有する**18自治体**と『**地域循環共生圏**』※の考え方に基づき、連携協定を締結

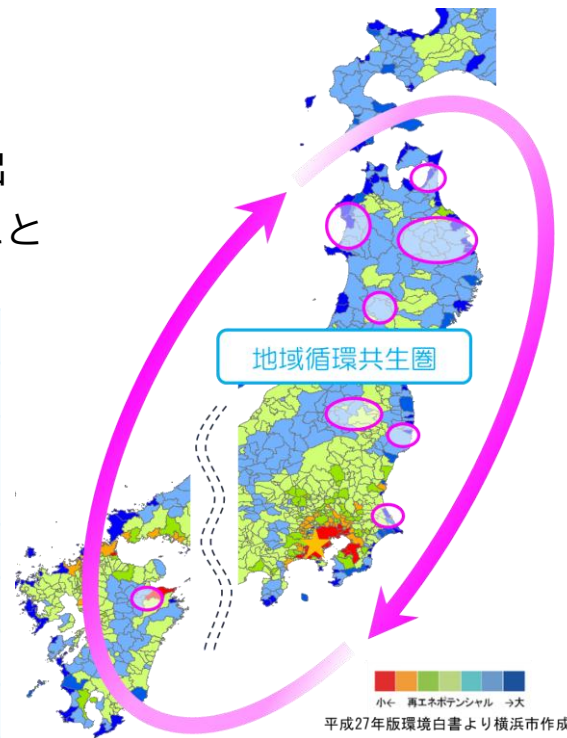
※地域循環共生圏：各地域がその特性に応じた地域資源を生かし、自立・分散型の社会を形成しつつ近隣地域と地域資源を補完し支え合うことで、地域を活性化させるための考え方。第五次環境基本計画（2018年4月閣議決定）にて提唱。

<連携項目>

- ・再エネの創出・導入・利用拡大に関すること
- ・脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出
- ・再エネ及び地域循環共生圏の構築に係る国等への施策提言に関すること

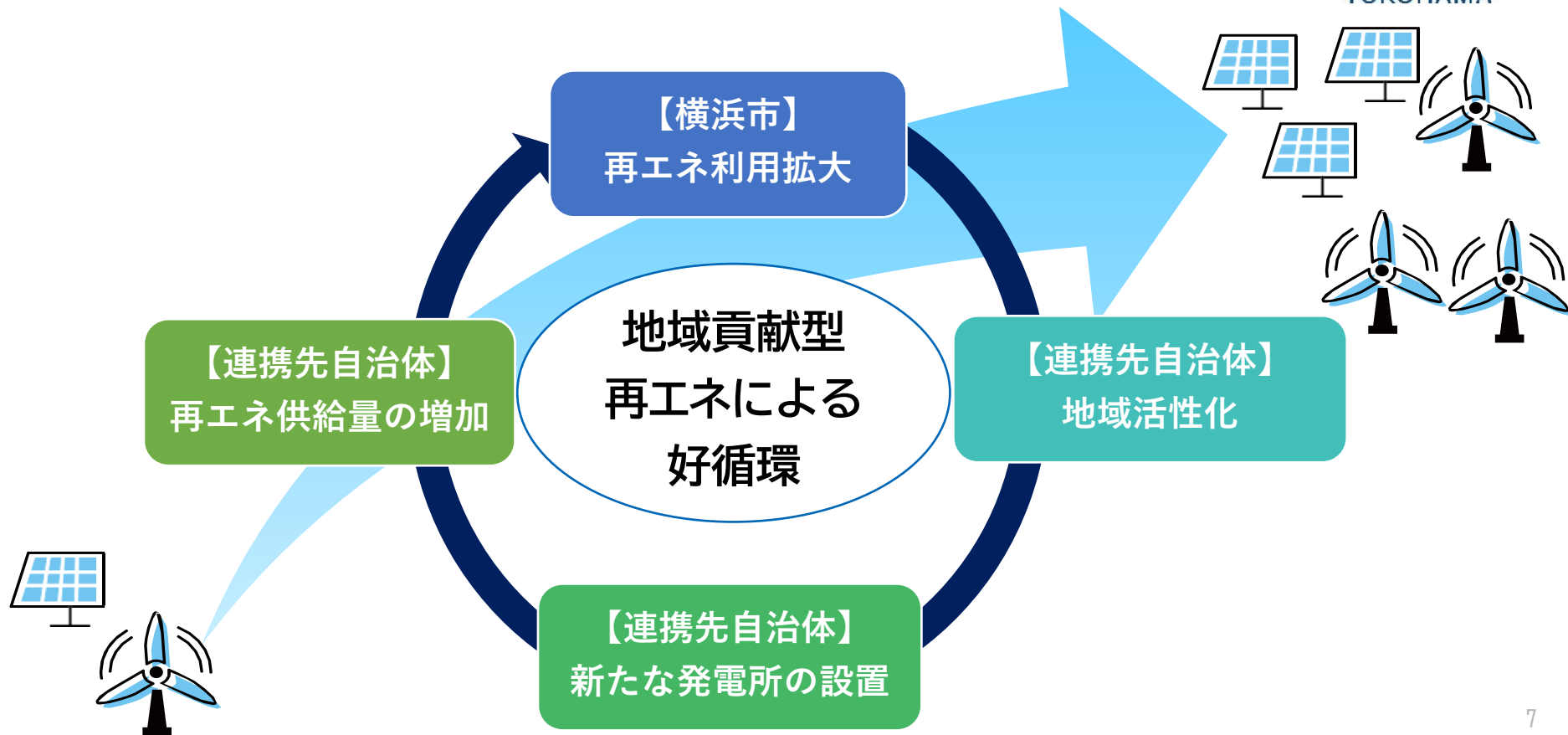
再エネ連携自治体

再エネ連携自治体	
青森県	横浜町
岩手県	岩手県北広域振興局対象自治体等 (久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町)
秋田県	八峰町・大潟村・湯沢市
福島県	会津若松市・郡山市・いわき市
茨城県	神栖市
大分県	日出町



再エネ広域連携の推進イメージ

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



2. 再エネ切替の取り組み

横浜市が提供する再エネプラン一覧

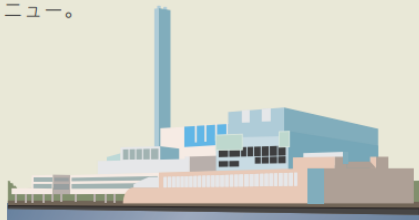
需要家向けに様々な電力プランを用意し、再エネ由来の電力切替を促進

地産地消

はまっこ電気

電力供給会社：東京電力エナジーパートナー様

横浜市焼却工場由来の環境価値を活用した実質再エネメニュー。



市内家庭太陽光オフサイトPPA

電力供給会社：ENEOS Power 様

市内ご家庭の太陽光余剰電力をオフサイトPPAで供給する地産地消の再エネプラン。



地域貢献

e. CYCLE YOKOHAMA

入札により電力を供給する会社を決定
入札は(株)まち未来製作所が実施

はまっこ電気Plus

電力供給は東京電力エナジーパートナー様が実施

連携先自治体の再エネ発電所由来の電気や環境価値を活用した実質再エネメニュー。

収益の一部が連携先自治体の地域活性化に活用！



はまっこGREEN



再エネの証書のみを追加で
購入するメニュー。
電力契約を替えることなく、
必要な分だけ購入が可能

脱炭素、SDGs活動、再エネ立地地域への貢献に寄与します

- ① 企業価値向上（カーボンニュートラルを先導する企業に）
- ② 手間をかけないSDGs活動（目標 7、11、13）



- ③ 再エネ発電所がある自治体への間接的な地域貢献 / 再エネ地産地消への貢献

再エネ切替事業者への横浜市からの感謝状贈呈

再エネ切替事業者様向けに感謝状贈呈式を開催し、記者発表で発表

①感謝状贈呈式 令和6年4月23日開催

【はまっこ電気】

エヌ・ケイ・テクノ株式会社 ^{※1}	川本工業株式会社 ^{※1}
株式会社開電工 神奈川支店 ^{※1}	相模鉄道株式会社 ^{※1}
豊田興業株式会社 ^{※1}	株式会社相鉄アーバンクリエイツ
大成建設株式会社 横浜支店	東電同窓電気株式会社 ^{※1}
株式会社八千代ポートリー ^{※1}	横浜高速鉄道株式会社 ^{※1}
横浜信用金庫 ^{※1}	株式会社横浜八景島 ^{※1}

【はまっこ電気Plus】

学校法人神奈川大学 ^{※2}	野村不動産供給株式会社 ^{※2}
三菱地所株式会社	株式会社村田製作所 ^{※2}
横浜ランドマークタワー ^{※2}	
横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (相鉄ホテル株式会社) ^{※2,※3}	

※2 はまっこ電気からお切替えいただいた事業者様

※3 はまっこ電気第二期も合わせてご利用いただいている事業者様

※1 第一期からご継続いただいている事業者様



②お礼贈呈式 令和6年4月30日開催

【再エネ切替事業者様】

(50音順)

株式会社大川印刷	株式会社カツマタ
株式会社ケイ・ワイ	伸光写真サービス株式会社
株式会社青武組	株式会社玉川
団地管理組合法人すすき野住宅	株式会社マルビ
宮本土木株式会社	リストプロパティーズ株式会社



記者発表等で、市内外で発表することで、横浜市内の事業者様の
企業価値の向上に繋がります

地域貢献の例 資金の還元

- ・株式会社まち未来製作所が提供する地域裨益型の再エネ電力融通の仕組み
- ・利益の一部を地域活性化資金として発電所立地地域に還元



地域活性化資金：再エネ発電所立地地域に投資・融資・寄付等で還元

- ・ 地域特性による課題や、未来に向けたチャレンジのために利活用
- ・ 用途は発電所立地地域の行政やローカルパートナーと協議、利活用方針を策定
- ・ 横浜市の需要家と連携先自治体間でこれまで1,000万円を超える資金を創出



電気自動車の導入



転入親子・子育てはじめて親子
ウェルカムバスツアー

地域貢献の例 地域間交流

- ・ 連携先自治体と横浜市の交流を深めることで、地域活性化に寄与
 連携先自治体：旅行客・関係人口の増加、物産の売り上げ増加
 横浜市：市民の再エネに関する理解・導入の促進
- ・ 物産展やイベント等、様々な取組を実施



■市庁舎で開催した北岩手展



■連携先自治体の環境価値を活用した
ライトアップイベント

■いわて洋野・久慈と横浜の絆フェス
in横浜・八景島シーパラダイス 14

地域貢献の例 地域間交流

- ・ 連携自治体が集まり、「再エネ交流物産展」を開催
- ・ 各地の特産の販売・PRとともに、再エネ電力の啓発を実施



■市庁舎で開催した交流物産展



■ランドマークタワーで開催した交流物産展

地域貢献の例 地域間交流

神奈川再エネ発電所見学ツアー

参加者 : 市内企業を対象に20名 (11社)

- 主な行程 :
- ・ 「ウィンド・パワーかみす第1 洋上風力発電所」 見学
 - ・ 洋上風力発電の保守等に携わる方々のトレーニング施設
 - ・ 農業とエネルギーを考える「ピーマンハウス見学・収穫体験



横浜市内事業者
対象

横浜発着・日帰り

神奈川 再生可能エネルギー発電所 見学ツアー

横浜市と連携協定を締結し、再エネポテンシャルが豊富な神奈川の
風力発電所等を見学します。横浜市では見えない風景がそこにあり、
再エネ先進地を肌で感じることができる機会です。
自社の再エネや環境への取組、SDGsなどの取組のきっかけとして、
是非ご参加ください!

出発日 2025年2月20日(木)

●集合場所 横浜市役所 1階 アトリウム
インフォメーション前 ●集合時間 8時20分

ツアー代金 4,000円税別
※ツアー代金に含まれるもの:昼食代及び現地活動費

要予約 2月12日(水)8:00 までに以下のURLもしくは
二次元コードよりお申込みください。
[https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/
apply/03fb2d31-a940-402a-a030-4ec2f39a5667/start](https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/03fb2d31-a940-402a-a030-4ec2f39a5667/start)

定員 35名様 ※先着順
※座席定員上、一企業あたり3名様までのご参加とさせていただきます

対象者 市内で事業活動を営む、企業もしくは個人事業主
※電力契約や環境、SDGs等のご担当者向けを想定したツアーです。

行程 横浜市役所 → かんすい風力発電所 → 神奈川風力発電所・研修施設 → 風力発電所・
トレーニングセンター → ビーマン栽培施設 → 横浜市役所
横浜市役所 8時20分集合 かんすい風力発電所 9時30分集合 神奈川風力発電所・研修施設 10時30分集合 風力発電所・
トレーニングセンター 11時30分集合 ビーマン栽培施設 12時30分集合 横浜市役所 13時30分集合

**ウィンドパワーかみす
第1海上風力発電所見学**
地球環境に優しく、エ
ネルギー効率の高さ上
にものなるエネルギー
源の一つである風
力発電の中で、最新の
の最新海上風力発電所
を見学します。

**ウィンド・パワー
トレーニングセンター見学**
安全、普及が期待され
る海上風力発電に携わ
る方々の安全訓練や
研修施設の概要など
のトレーニングプログラ
ムを提供する施設を見
学します。

**日本一のピーマンの産
地でエネルギーを考えよう**
日本一のピーマンの産
地で、再生可能エネル
ギーを学び、ピーマン
の収穫も体験します。

<https://windpower.co.jp/windfarm/> <https://training-center.windpower.co.jp/>

福島を巡る再生可能エネルギー施設等見学ツアー

参加者：市内教育関係者等を対象に9名

主な行程：【いわき市】下水汚泥等利活用施設、スパリゾートハワイアンズ

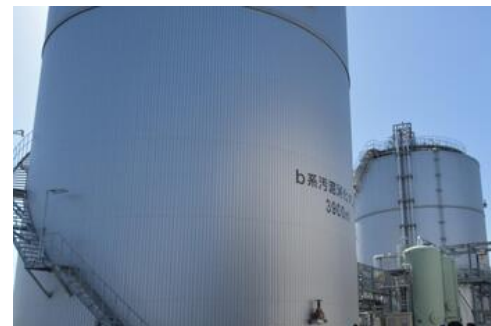
【郡山市】安積疎水発電所

【浪江町】福島水素エネルギー研究フィールド、請戸小学校（震災遺構）

横浜市再エネ連携協定に係る再エネ見学ツアー支援制度構築事業
～再生可能エネルギーに関する連携自治体等との地域間交流を目的とした～
3月4日(水)発
「福島を巡る再生可能エネルギー施設等見学ツアー」 1泊2日/2泊3日

▼ワンダーファーム 視察イメージ ▼いわき市中部浄化センター 下水汚泥等利活用施設 イメージ ▼株式会社起点 体験 イメージ

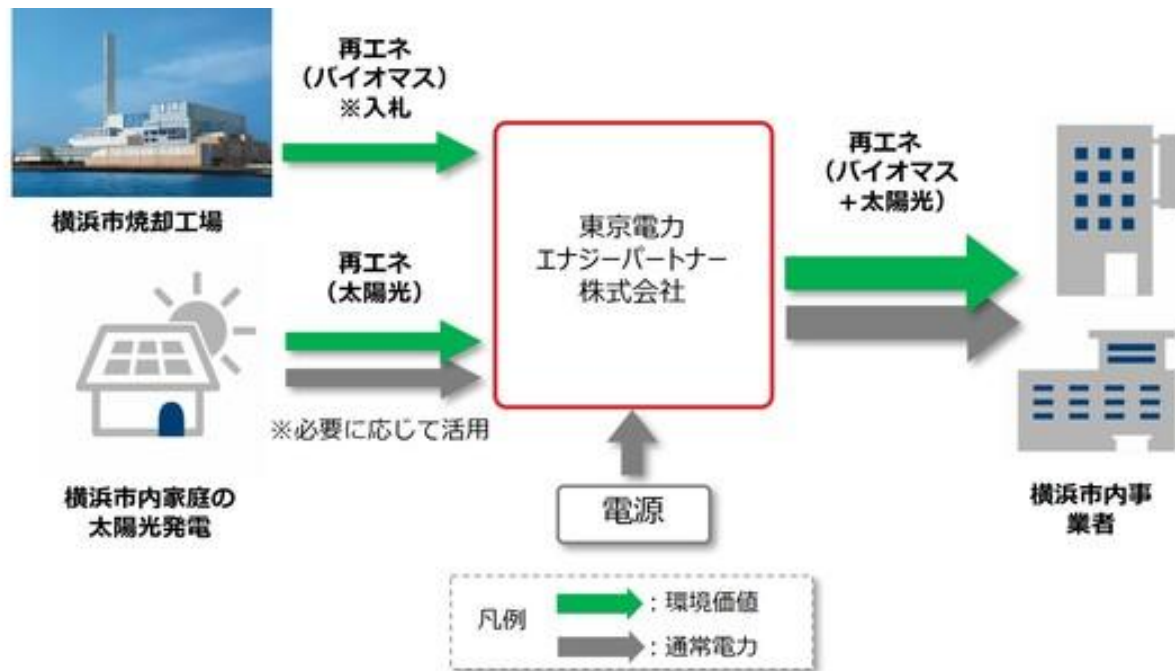
開催趣旨
横浜市は、2050年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー（以下「再エネ」という。）の普及拡大に取り組んでおり、これまでに再エネ資源を豊富に有する市町村と連携協定を締結しています。本連携協定では、脱炭素社会の推進に関する自治体間のつながりをきっかけとした相互の地域活力の創出に関することについても連携することとしています。
このたび、連携自治体との地域間交流を通じて、再エネに関する知見を深め、環境教育の取組のきっかけにもらうことを目的に実施する、再エネ施設等見学ツアーの参加者を募集します。



3. 横浜市が連携する 再エネ電力プラン一覧

はまっこ電気（東京電力エナジーパートナー株式会社）

- 東京電力エナジーパートナー株式会社が提供する、横浜市資源循環局の焼却工場から発生する環境価値を活用した地産地消の再エネプラン
- 焼却工場の環境価値が不足した場合は、横浜市内の家庭用卒FIT太陽光由来の環境価値を充当



市内家庭太陽光オフサイトPPA（ENEOS Power(株)）

- ENEOS Power 株式会社が提供する、市内ご家庭の太陽光余剰電力をオフサイトPPAで供給する地産地消の再エネプラン
- 不足分は、グループ内の他の電源により実質再エネ100%での供給が可能

市内卒FIT太陽光発電



電力

環境
価値



ENEOS Power株式会社

不足分
調達

電 源

再エネを利用したい人
(市内企業)

電力

環境
価値

不足
供給分



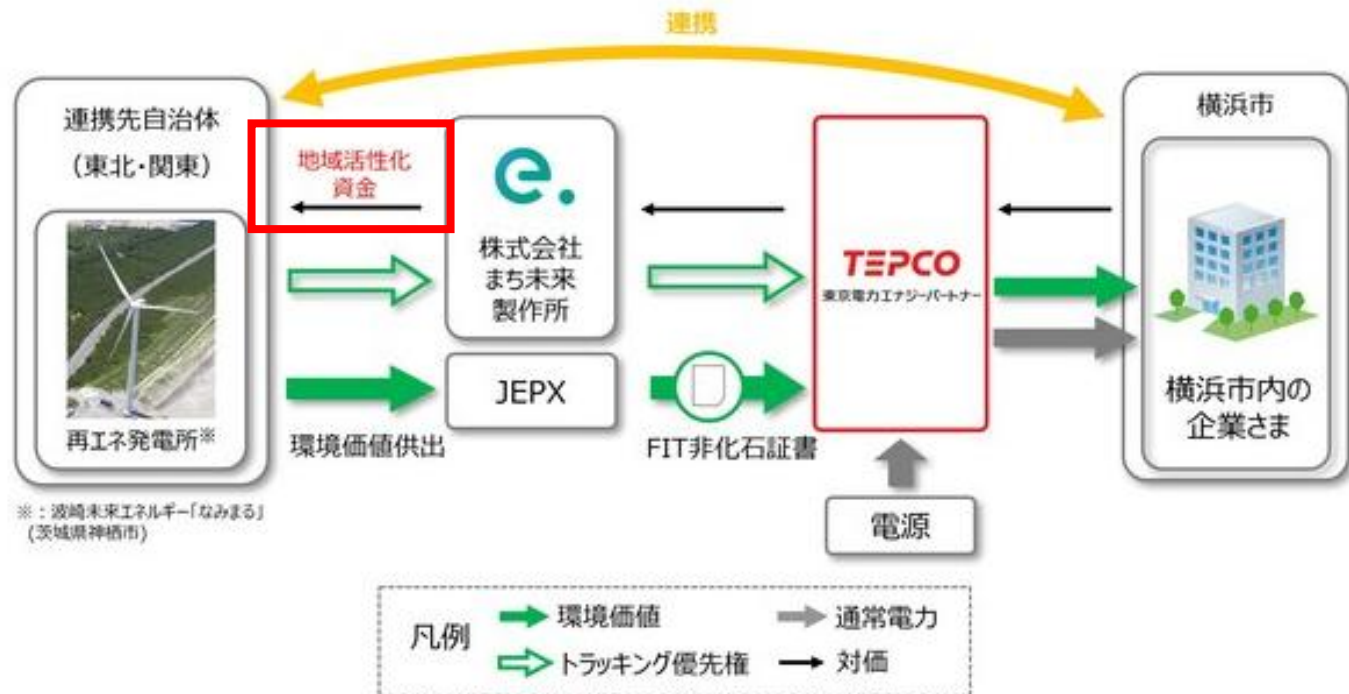
e.CYCLE YOKOHAMA (株)まち未来製作所

- 株式会社まち未来製作所と連携し、連携先自治体に立地する再エネ発電所の電気を横浜市内に供給
- 需要家に電気を供給する小売電気事業者を入札方式により決定
- 電気代の一部を地域活性化資金として、電源が立地する自治体に還元し、その活用方法を関係自治体等との協議により決定する国内初のモデル



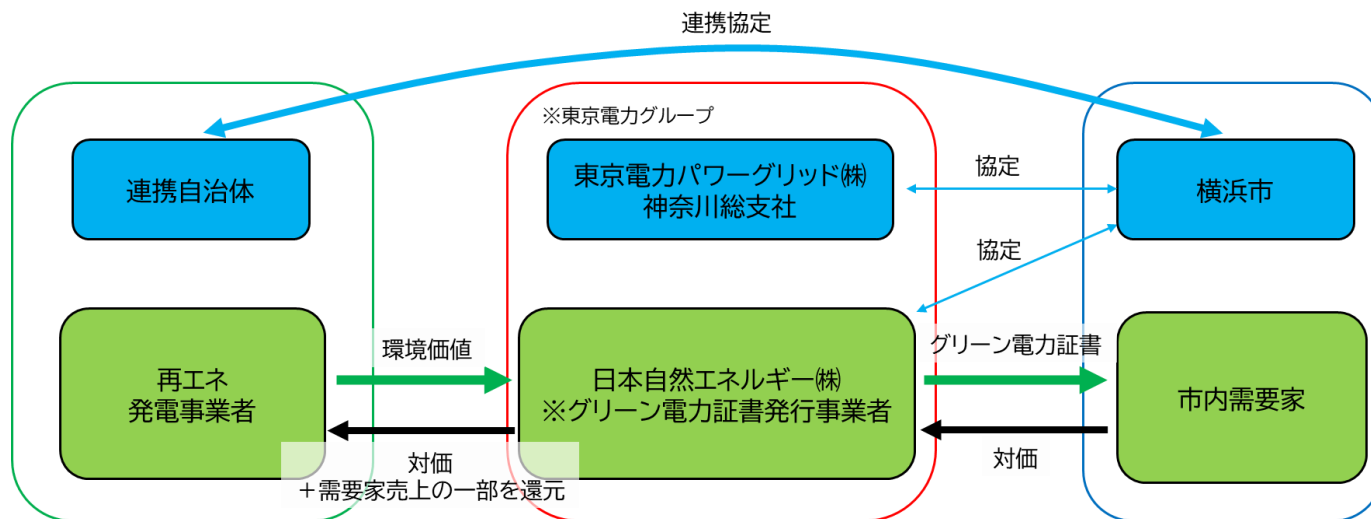
はまっこ電気Plus（東京電力エナジーパートナー(株)）

- 東京電力エナジーパートナー株式会社、株式会社まち未来製作所と連携し、連携先自治体の再エネ発電所由来の環境価値を活用した実質CO₂フリー電力のメニュー
- 電気代の一部は地域活性化資金として、電源が立地する地域に還元



はまっこGREEN

- 日本自然エネルギー株式会社（東京電力グループ）が販売する、連携先自治体の再エネ発電所由来の環境価値を活用した「グリーン電力証書」
- 現在の電力契約はそのままに、証書のみを購入し実質再エネ化が可能
- 電気代の一部が、当該再エネの維持管理に活用



再エネメニューの詳細や、ご不明点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

横浜市
脱炭素・GREEN×EXPO推進局
循環型社会推進課
担当係長：大嶋/村尾/安室
担当：木幡/山形

TEL:045-671-4155

Mail: da-saiene@city.yokohama.lg.jp

